



かわらんべ講座「紅葉の大鹿で砂防工事見学」

11月11日、大鹿村でかわらんべ講座が行われました。子供からお年寄りまで約20人ほど参加され、三六災と砂防事業について学びました。小渋川砂防出張所長の案内で、室内学習をはじめ、災害の爪痕が残っている大西公園、また、持社沢砂防堰堤や塩川床固工群に足を運び現地にて砂防事業の見学を行いました。参加者にお話を聞いたところ、「もともと堰堤や根固めなどの砂防事業に興味があり今回参加した。丸みを帯びてる石張りはかなり手が込んでいると思った。」とのこと。

かわらんべ講座を通して、一般の方に砂防事業を身近に知ってもらうことができました。

かわらんべとは？

飯田市川路にある総合学習館。定期的に川について学ぶ講座を実施しており、主に子供向けの体験講座が開催され、親や地域の大人と一緒に参加することで世代を超えた交流の場になってます。また、大人向け各講座も開催されて毎回人気を集めています。詳しくはかわらんべHP(<https://www.kawaranbe.net/>)



三六災について学習



大西山崩壊地見学



塩川床固工群



持社沢砂防堰堤見学

天竜川上流直轄砂防事業促進期成同盟会 設立30周年 天竜川直轄砂防事業80周年



記念樹の植樹



記念碑

11月1日、天竜川直轄砂防事業促進期成同盟会が設立30周年という節目を迎え、記念行事に天竜川上流河川事務所長、杉本駒ヶ根市長、柳島大鹿村長など多くの方が参加されました。

小渋川水系の砂防工事は、昭和8年に長野県が同川上流の小渋上沢に着工したのが最初であるが、同12年に内務省の直轄に移され、各所堰堤工事などの着手がはじまりました。直接着手から50年目に大鹿村に記念碑が大鹿村役場前に設置されましたが、今回の節目を機に三六災害の崩壊地が見える大鹿小学校近くに移設されました。

中学校職場体験学習

中学生の職場体験学習が行われ、長谷中の生徒と伊那中の生徒が大鹿村に来られ、小渋川砂防出張所の業務並びに、砂防事業について学びました。熱心に質問し、メモを取る姿には少し大人びた雰囲気を感じました。



小渋川砂防出張所にて大鹿村の地形や三六災害、砂防施設の役割について学びました。



鹿塩川流域の地質調査を実施している現場に行き、ボーリングの削孔長や土質を確認しました。

もともとダムや堰堤に興味があり、名称まで知っている生徒もいました！



職場体験の感想を聞いてみた!!

「大鹿村は過去に災害があつて、それを食い止めるために工事しているのがわかった。単に工事をしているのではなく、石などの自然のものを使っていて感心した。」とのこと。中学生とは思えないコメントをいただきました。



塩川床固工群工事の見学をしました。工事現場を初めて近くで見ました。



JICA研修員現場視察



11月15日、洪水・河川管理能力の強化を目的として、コロンビアから研修員6名が大鹿村に来られました。砂防ステーションで三六災による教訓を学び、大西公園にて被害の爪痕を見学し、上蔵砂防堰堤などの砂防事業を見学しました。コロンビア人は陽気な方が多く、楽しそうに研修を行っていました。

大西観音



11月は多くのイベントがあり、大西公園に足を運ぶ機会が増え、大西観音が紅葉に囲まれとても美景でした。これからは冬本番となり雪化粧をした大西観音を見に行くのも良いのではないのでしょうか。